

会 議 録

会 議 名	令和５年度第２回野田市都市計画審議会
議題及び議題 毎の公開又は 非公開の別	議案第１号 野田市都市計画審議会の職務代理の指名について （公開） 議案第２号 野田都市計画生産緑地地区の変更について（付議） （公開） 議案第３号 野田都市計画瀬戸上ノ台地区地区計画の決定について（付議）（公開） 議案第４号 字区域の変更について（諮問）（公開） 報告第１号 野田都市計画瀬戸儘ヶ崎地区地区計画の決定について（報告）（公開）
日 時	令和５年１０月１２日（木） 午前１０時から午前１１時２０分まで
場 所	野田市役所高層棟８階大会議室
出席委員氏名	岩岡 竜夫、遠藤 博一、齊藤 和夫、長 勝則、河井 哲弥、 川崎 貴志、桜田 康則、中村 裕介、濱田 勇次、古矢 千 晴、守安 邦弘、西山 昌克、菊地 穂澄、櫻井 隆
欠席委員氏名	小俣 悦子、寺部 慎太郎
事 務 局 等	鈴木 有（市長）、今村 繁（副市長）、浅野 開作（都市部長） 内山 忠則（都市部次長（兼）愛宕駅周辺地区市街地整備事務所 長）、青山 直樹（課税課長）、寺門 洋行（総務課長）、高谷 亮介（総務課庶務係長）、高梨 健（農政課長）、高橋 康仁 （土木部次長（兼）管理課長）、染谷 隆徳（農業委員会事務局 長（兼）自然経済推進部参事）、金子 正道（都市計画課長）、 服部 薫（都市計画課長補佐）、塚越 貴浩（都市計画課副主幹 （兼）計画係長）、石川 幸一（都市計画課主任主事）、井上 航（都市計画課主任主事）
傍 聴 者	３名

議 事	議事の概要は次のとおりである。 会長（岩岡） 10月12日午前10時開会を宣言した。本会議開催に当たり小俣委員、寺部委員が欠席する旨を報告した。 今回の審議会は委員の半数以上が出席しているので、会議が成立することを伝えた。 会議は原則公開としており、本会議の傍聴希望者が2名おり傍聴を許可する旨を報告した。また、うち1名の会議の撮影を許可した。 配付資料の確認を事務局に求めた。 都市計画課長補佐 配付資料の確認を行った。また、会議録作成のための録音、記録のための撮影を行うことを報告した。 会長（岩岡） 新たに傍聴希望者1名の傍聴を許可した。 会長（岩岡） 新たに就任した齊藤委員に自己紹介を求めた。 委員（齊藤） 就任の挨拶を述べた。 会長（岩岡） 市長に挨拶を求めた。 市長（鈴木） 出席に対するお礼を述べた。齊藤委員に就任のお礼を述べた。今回の審議会では、前回報告をした生産緑地地区の変更及び瀬戸上ノ台地区地区計画に関する付議案件の審議、字区域の変更に関する諮問案件について審議をお願いしたい旨を述べた。瀬戸儘ヶ崎地区地区計画について報告案件があることを述べた。 会長（岩岡） 議案第1号 野田市都市計画審議会の職務代理の指名について、事務局からの説明を求めた。 都市計画課長 議案第1号 野田市都市計画審議会の職務代理の指名について説明した。 会長（岩岡） 職務代理者に遠藤委員を指名し、自己紹介を求めた。 委員（遠藤） 就任の挨拶を述べた。
-----	---

	会長（岩岡） 議案第２号 野田都市計画生産緑地地区の変更に ついて、事務局からの説明を求めた。 都市計画課長 議案第２号 野田都市計画生産緑地地区の変更に ついて説明した。 会長（岩岡） 議案第２号について質疑に入り、発言を求めた。 委員（長） 主たる従事者の故障の定義について質問した。 都市計画課長 生産緑地法に、農林漁業に従事することを不可能 にさせる故障として、両目の失明、精神の著しい障害、神経系 統の機能の著しい障害、胸腹部臓器の機能の著しい障害など、 農業を継続できないと判断されるものを国土交通省令で定めら れている旨を説明した。 会長（岩岡） その他質疑を求めた。 <質疑無しの声有り> 会長（岩岡） 質問がないことを確認の上質疑を終了し、討論に 入り意見を求めた。 <意見無しの声有り> 会長（岩岡） 意見がないことを確認の上討論を終了し、採決に 入り異議がないか尋ねた。 <多数の異議無しの声有り> 会長（岩岡） 異議がないので原案のとおり決定する旨を述べ た。 会長（岩岡） 議案第３号 野田都市計画瀬戸上ノ台地区地区計 画の決定について、事務局からの説明を求めた。 都市計画課長補佐 議案第３号 野田都市計画瀬戸上ノ台地区地 区計画の決定について説明した。 会長（岩岡） 議案第３号について質疑に入り、発言を求めた。 <質疑無しの声有り> 会長（岩岡） 質問がないことを確認の上質疑を終了し、討論に 入り意見を求めた。
--	---

	<意見無しの声有り> 会長（岩岡） 意見がないことを確認の上討論を終了し、採決に入り異議がないか尋ねた。 <多数の異議無しの声有り> 会長（岩岡） 異議がないので原案のとおり決定する旨を述べた。 会長（岩岡） 議案第４号 字区域の変更について、事務局からの説明を求めた。 総務課長 議案第４号 字区域の変更について説明した。 会長（岩岡） 議案第４号について質疑に入り、発言を求めた。 委員（櫻井） 字の飛び地があることで混乱したことがあった。字の変更をすることでカーナビ等の連動はどのようなになるのか、外部に通知や是正は行われるのか質問した。 総務課長 住所が変わる方がいないため、周知等をする予定はない。地番等が変更になるため、法務局と相談し実施する旨を説明した。 会長（岩岡） 住所変更がないことについて質問した。 総務課長 今回の対象区域において、住民票を置いている方はいない。一部、土地が飛び地である清水とまたがっている方がいるが、大字野田に住民票を置いているので、変更する方はいない旨を説明した。 委員（櫻井） カーナビ等への情報の反映について質問した。 都市計画課長 カーナビの連携について、毎年測量法に基づいて、地図ソフトを作成している会社から申請があり、互いに情報提供をしている旨を説明した。 会長（岩岡） その他質疑を求めた。 <質疑無しの声有り> 会長（岩岡） 質問がないことを確認の上質疑を終了し、討論に入り意見を求めた。
--	---

	<意見無しの声有り> 会長（岩岡） 意見がないことを確認の上討論を終了し、採決に入り異議がないか尋ねた。 <多数の異議無しの声有り> 会長（岩岡） 異議がないので異議無しと決定する旨を述べ、本日の付議案件2件、諮問案件1件の採決が終了したので、答申書を作成するため、暫時休憩とする旨を述べた。 <休憩> 会長（岩岡） 審議を再開し、議案第2号、第3号及び第4号について原案のとおり可決し、答申する旨を述べた。 <答申書を手交> 市長（鈴木） 慎重に審議していただき、答申を頂いたことに対し、謝辞を述べた。 会長（岩岡） 報告第1号 野田都市計画瀬戸儘ヶ崎地区地区計画の決定について、事務局に説明を求めた。 都市計画課長補佐 報告第1号 野田都市計画瀬戸儘ヶ崎地区地区計画の決定について説明した。 会長（岩岡） 報告第1号について質疑に入り、発言を求めた。 委員（濱田） 柏インターから水堰橋まで約3キロあり、路線を思い浮かべると右折車線が不足している。柏インターから当該場所までの間に渋滞が予想されるが、調整をどのように行っているのか質問した。 都市計画課長 県道に右折レーンを整備されることが望ましいが、早急な対策は難しいことから、施設間で車の分散を図り、県道に負荷をかけないよう、事業者に求めていく旨を説明した。 委員（濱田） 遠回りになるが、柏斎場のところを右折して国道16号に出るという指導もあるのではないか質問した。 都市計画課長 瀬戸地区で3か所目の地区計画が立ち上がってい
--	--

	る中で、柏市からどの程度交通量が発生するのか話があり、打合せを行ったことがある。今、新しく柏市で整備している国道 16 号のアンダーパスが出来上がっていくようなこともあるため、注視していきたい。市民等から意見を集め、今後とも事業者の方に適切に指導していく旨を説明した。 委員（濱田） 建物の高さを 38 メートルにすることで、植物や生き物に対して日が当たらない問題が生じると考えられるが、環境に関してどのように考えているのか質問した。 都市計画課長 周辺環境への影響について、事業者の検討では、冬至において、北側の住宅で 2 時間程度の日影が発生し、隣接する農地については 3 時間を超える影響はないという報告を受けている。北側で一部、日影が発生するところはあるが、それ以外について影響は少ないと考えている。 また、地区計画上、緑地を 10 % 求めることとなっているが、それを上回る 14 % の緑地を配置する計画となっている。その他、壁面の緑化、木が植えられるようなタイプの擁壁を使用する、上下階に自走するランプウェイにも緑を配置するといった配慮もするよう事業者に求めていく旨を説明した。 会長（岩岡） その他質疑を求めた。 委員（櫻井） 主要地方道我孫子関宿線を北柏方面に抜ける道で交通量が増加すると考えられる。新十余二の交差点の改良が必要と考えるが、柏市との協議でどこまで想定しているのか質問した。 また、当該地は浸水する地区にあり、倉庫を造ることで浸透していた水が浸透しなくなる。近年の大雨を考えると 1 時間に 100 ミリ規模の雨の排水ができなければ耐えられないと考えられるが、排水、洪水対策についてどのように考えているのか質問した。 都市計画課長 交通渋滞対策については、主要地方道我孫子関宿
--	--

	線で今回の物流倉庫で増加した分を含めると混雑度が1.04となる。また、柏市の花野井地点の数値は、1.2くらいであり、1日の中で渋滞が何時間か発生してしまう状態にあると考えている。柏市からも千葉県に対して、交差点改良等の要望をしていると思われるが、今後、柏市など近隣市を含めた協議、打合せの場を設けたいと考えている。 冠水対策については、最終的に利根運河に江川排水路、江川排水機場を通じて、異常時はゲートを閉めてポンプ排水しているというようなところである。雨水抑制については、開発に該当するため野田市宅地開発指導要綱で求めている1ヘクタール当たり1,450トンの抑制を行う。また、あわせて防災調整池を造る計画となっており、通常、指導できる以上の冠水対策をこの事業の中で求めていく旨を説明した。 土木部次長（兼）管理課長 建物の地下に7,300立方メートルの地下貯留ピットを設置することで、1ヘクタール当たり1,450トンの基準をクリアする計画となっており、これに、上乗せする部分として880立方メートルの防災調整池を設置することで、1割以上の強化になると考えている旨を補足で説明した。 会長（岩岡） その他質疑を求めた。 <質疑無しの声有り> 会長（岩岡） ほかに質疑がなかったため、その他事務局から連絡事項はないか確認した。 都市計画課長補佐 今後の審議会のスケジュールについて周知した。 会長（岩岡） 質疑を求めた。 <質疑無しの声有り> 会長（岩岡） 閉会を宣言した。
--	--